



## 陶芸家アダム・シルヴァーマン、京都の展覧会への思いを語る。

完全なる不完全の「美」を紡ぐ2人のアーティストの共演。

カリフォルニアを代表する陶芸家の一人、アダム・シルヴァーマン。「溶岩のようなテクスチャ」と表現される作品が多く、凹凸のある表面や独自の釉薬使いが特徴だ。そんな彼が10月に、広島で植物店を営む小田康平氏とコラボレーションした展覧会を開くという。それも京都で。実は、第1弾となる『A Tale of Plant & Pot』はロサンゼルスのレストランショップ兼ギャラリー〈チャリオッツ・オン・ファイヤー〉で今年の4月に開催された。この作品展でアダム・シルヴァーマンのポットと小田康平氏によるプラントが約2年間の熟成期間を経て初コラボレーションを果たしたのだ。京都で開かれるのはその第2弾となる。そもそもこの企画を仕掛けたのは、

〈チャリオッツ・オン・ファイヤー〉を率いる八木理都子氏。キュレーターとしても活躍する彼女が、アダムと小田氏、アダムの作品集のブックデザインを担当したアートディレクターの八木保氏に声をかけたのが始まりだ。「タモツと僕は以前からとても親しい仲で、この提案を聞き小田さんの作品の写真を見せてもらったんだ。とても興味を



湧き、一緒に何かしてみたいと思った。小田さんとは日本とアメリカで離れているから、ブラインドデートのような状態でスタートした。まずは僕のイメージで先にポットを完成させ、そのポットを見てそれに合うプラントを彼が仕上げていく。小田さんの作品は、珍しい植物の「接ぎ木」をして、2つの植物の組織を合体させたものなんだ。共作なのにそれぞれが独立したものの作りをする過程が面白いと感じたね。さらにプラントは日々成長しフォルムが変わったり花が咲いたりする。その時々で全体の見え方が変わるんだ。そんな不完全な「美」を見出してくれたらとても嬉しい」

作品の一つ一つにアダムと小田氏それぞれが思い描くストーリーが隠されているのだ。

展示した作品すべてが完売したロサンゼルス第1弾の展覧会のあと、違ったシェイプや、細かい土を全体にまぶすなど多くのアイデアが浮かんだという。そのアイデアを反映

させて、京都で行われる10月の展示に向けポット作りはほぼ完了したというアダム。これから日本に出荷し、そこから先は小田氏の作業となる。これらの作品は前回同様、制作過程を小田氏に見せず、「彼の手元に届くまでのお楽しみ」と笑いながらちょっとだけ見せてくれた(中央写真)。そこで前回と今回の作品の違いについて聞いてみた。

「京都では前回よりさらに洗練された作品を見てもらえると思う。僕の作品は「抽象化された自然」であり、小田さんのプラントは「ハイブリッドとなった新しい植物の美」なんだ。そのどちらもが進化していることを感じてもらえると思う」

そして、京都での展示スタイルは、市内に7カ所の会場を設けることに決まった。あえてギャラリーではなく、紙屋や花店、古本屋や蕎麦屋など、京都ならではの和の心が息づく空間に計60もの作品が並ぶという。

「日本の中でも、伝統のある京都での開催ということではの街並みや店の表情、その空間に我々の作品がどう溶け込むのか僕もこの目で確かめたい。日本のみなさんにも多くのロケーションを巡ってもらえたら嬉しいね。そして、この共作を自由に感じてもらえればいいと思う」

出荷前の慌ただしい中にもかかわらず、丁寧に質問に答えてくれるアダム。展示する作品を作り終えたというその表情からは納得のいくものができたという自信を感じ取ることができた。最後に焼き上げたばかりの作品はまだ窯の中で、「とても高温なんだけど」と言いながら少し覗かせてくれた。その中には京都への思いが詰まっていた。

### ADAM SILVERMAN

アダム・シルヴァーマン/1963年NY生まれ。建築とデザインを学び、カリフォルニアに移住後、(X-LARGE)を創設。2002年より陶芸家として活動。ヒースセラミックスのスタジオディレクターを経て、現在は自身のスタジオを設立。

京都、7カ所の展覧会会場はここ！



#### かみ添

「型押し」という古典印刷技術で、手摺りにより文様を移した紙類を販売。今回の展覧会で最多の作品を展示予定。  
●京都市北区紫野東藤ノ森町11-1。11時～18時。月曜日休。



#### みたて

山野草など季節の植物を扱う花屋。「見立て」という店名のごとく、日本人の美意識を植物を通して表現している。  
●京都市北区紫竹下竹殿町41。10時～18時。月曜日休。



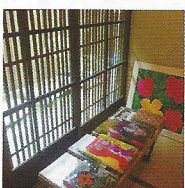
#### かね井

築90年を超える町家を改装した手打ち蕎麦屋。香りとコシのある十割蕎麦は絶品。  
●京都市北区紫野東藤ノ森町11-1。11時30分～14時30分、17時～19時。月曜日休。



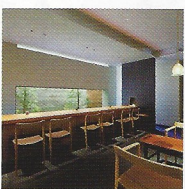
#### ふうか 麩嘉

約200年前に創業した専門の老舗。地下水を使用して作る生麩のほか、麩まんじゅうも人気一品。  
●京都市上京区東裏辻町413。9時～17時。月曜・最終日曜日休。



#### Books & Things

2間の座敷を持つ古い長屋を改装した古本屋。アート、建築、デザイン関連の古書が充実している。  
●京都市東山区古門前通大和大路下元町375-5。11時～19時。不定休。



#### Zen Café by 鍵善良房

江戸の享保に創業し、祇園で京菓子を作り続けている(鍵善良房)のカフェ。斬新でモダンな店内も見どころ。  
●京都市東山区祇園町南側570-210。11時～18時。月曜日休。



#### ない藤

創業明治8(1875)年という履物屋の老舗。ここの履物は、美しいうえ、足に吸い付くような履き心地に定評がある。  
●京都市東山区縄手通四条下ル。10時30分～18時。不定休。

### 『プラントとポットの物語 京都展』

LAの陶芸家、アダム・シルヴァーマンと広島の植物屋〈叢-Qusamura〉の店主、小田康平のコラボレーション展。会期は10月18日～31日。上記7会場で展示。詳しい情報は<http://chariotsonfire.com>にて随時、更新中。